

第3号様式（第6条第1項関係）

市長	副市長	部長	課長	主幹・副主幹	主査・主査補	班員
付議・報告部課						

平成29年7月19日

会議結果報告書（行政経営戦略会議）

1 日時及び場所

平成29年7月19日（水）午前9時30分～ 本庁舎3階特別会議室

2 出席者

管財契約課 風間課長、落合主査補

3 件名

庁舎整備工事の契約変更について

4 会議結果

- 案のとおり決定する。
- 一部修正の上、決定する。
- 継続して検討する。
- 案を否決する。
- 報告を了承する。

5 会議内容

【質疑応答】

- 解体作業を行わなければ、発見できない部分か。
⇒床や天井の仕上げ材の隠れた部分に発生していたもので、実際に仕上げ材を撤去した後でないとは確認できない。

備考 会議内容を簡潔に記載すること。

平成 29 年 7 月 19 日

付議書(行政経営戦略会議)

部課名 (総務部管財契約課)

1 件名

庁舎整備工事の契約変更について

2 目的

庁舎整備計画では、東庁舎は適切な保全を行い、改修後 50 年間使用することを前提としている。

しかしながら、内装解体作業を実施したところ、小梁のたわみや床のひび割れが発見されたため、補修を行う。

3 効果

減築改修工事と併せて必要な補修を行うことにより効率的な事業執行が図られる。

4 現状と課題

減築改修棟の工事が開始され、内装解体作業が完了し、既存構造体の健全性を調査したところ、経年劣化による各階床の小梁にたわみが最大 25 ミリ、コンクリートスラブに幅 0.3 ミリ～2.0 ミリのひび割れが多数発見された。

耐震性能への影響はないが、小梁のたわみの進行やコンクリートの中酸化進行速度を遅らせる必要がある。

5 対応

たわみやひび割れの進行を抑制するため、1 階床から 4 階床までのすべての小梁 (64 本) の梁下へ炭素繊維シートによる補強工事、コンクリートのひび割れについては、スラブ (床)、柱、壁、梁 (約 1,700 メートル) にアクリル樹脂の注入工事を行う。

6 スケジュール

8 月下旬 庁舎建設等検討委員会で説明

8 月 25 日 議員全員協議会で説明

9 月 1 日 (議会) ・契約変更議案の提案

〃 ・補正予算の提案

7 その他

概算事業費	19,440千円
-------	----------

8 関連情報

関係法令等	
関係課	財政課（補正予算）
予算措置	事業費 一般会計 2款1項5目 円 特定財源 円 現契約金額 4,407,987,600円

経年劣化によるコンクリートのひび割れの発生について

1. 現状

長期間の床への荷重により、床の重さを支えている小梁の端部と中央部で最大 25mm のたわみが生じています。

このたわみにより床端部へのひび割れやコンクリートのかぶりの少ない床配管部分（電線管）に沿ってひび割れが生じています。

また、耐震性能への影響は、大梁や柱が地震力を負担するもので、小梁は床の荷重を支える部材であるため、たわみが生じても耐震性能への影響はありません。

しかしながら、東庁舎の耐用年数をコンクリートの中性化速度から改修後 50 年としており、ひび割れから空気がコンクリートへ侵入することによる中性化速度の進行が考えられることから、たわみの進行を抑制するとともにひび割れを補修し、コンクリートの中性化を抑えるための補強・補修等の対応が必要となっています。

2. 補強・補修方法

① 小梁の補強

小梁の下部鉄筋の補強として炭素繊維シートを貼り付ける。

② ひび割れの補修

ひび割れに接着剤を注入し、ひび割れをふさぐ。

3. 現況参考写真

① 建物内現況全景



□ 床現況接写（ひび割れ状況）

